

6節 マスチック塗材塗り

15.6.1 適用範囲

この節は、コンクリート面、押出成形セメント板面、モルタル面及びALCパネル面に、マスチック塗材を多孔質のハンドローラーを用いて塗る工法に適用する。

15.6.2 マスチック塗材塗り

(a) マスチック塗材塗りは、表15.6.1により、種別は、特記による。

表15.6.1 マスチック塗材塗り

工 程	種別		塗材その他	商 品 名 希釈剤・希釈率	塗付け量 (kg/m ²)
	A種	B種			
素地 ごしらえ	○(注)1		18.2.5 [モルタル面及びプラスター面の素地ごしらえ]又は18.2.6 [コンクリート面、ALC パネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ]による。		
1 下地押え	○	—	合成樹脂エマルジョンシーラー	ニッパ 水性透明シーラー 水道水 100%	0.12
	—	○	マスチックC用シーラー	—	0.12
2 塗材塗り	○	—	マスチック塗材 A	ニッパ マスチック A 水道水 0～5%	1.20
	—	○	マスチック塗材 C	—	1.80
3 仕上材 塗り	—	○	つや有合成樹脂エマルジョンペイント 2回塗り	—	0.20

(注) 1. 素地ごしらえの種別は、塗材その他の欄による。

2. 押出成形セメント板面の素地ごしらえは、表18.2.6 [コンクリート面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ]によるB種とする。

(b) 仕上材塗りはつや有合成樹脂エマルジョンペイントとし、種類及び適用は特記による。

(c) マスチック塗材は、製造所において調合されたものとする。

(d) マスチック塗材は、施工に先立ちかくはん機を用いてかくはんする。

(e) 塗付けは、下地にくばり塗りを行ったのち、均し塗りを行い、次にローラー転圧によりパターン付けをして、一段塗りで仕上げる。

(f) 塗継ぎ幅は、800 mm程度を標準として、塗継ぎ部が目立たないように、むらなく仕上げる。

(g) パターンの不ぞろいは、追掛塗をし、むら直しを行って調整する。

日本ペイントの対応商品は、下記ホームページをご参照ください。

JIS A 6909 建築用仕上塗材 規格と組合せ一覧表

<http://www.nipponpaint.co.jp/tips/JIS2.pdf>